



PORSCHE

18. Dec. 2017

Vol.192/17

**完璧なランニングコンディション：
ポルシェ ミュージアムが最も古い 911 を初めて披露**

特別展示：「911 (901 No. 57) – レジェンドのテイクオフ」

ポルシェ AG (本社：ドイツ、シュトゥットガルト 社長：オリバー・ブルーメ) が運営するポルシェ ミュージアムは、3年をかけてレストアした最古の911をコレクションに追加し、2017年12月14日から2018年4月8日までの間、「911 (901 No. 57) – レジェンドのテイクオフ」と題した特別展示で披露します。このレッドカラーのクーペは、1964年に初の量産スポーツモデルとして生産された1台であり、当時は901の名で知られていました。誕生からちょうど50年が経過したタイミングでポルシェ ミュージアムは偶然にもこのレアなモデルに出会うと、元の状態にレストアすることを視野に入れてその購入を決断しました。

ポルシェは当初、356の後継モデルを901というモデル名で開発し、一般に披露しました。ところが1964年の秋、生産開始からわずか数週間で、このクーペは商標権の問題によって名称変更を余儀なくされ、911というモデル名を名乗ることになったのです。そのため、その時点までに生産された車両は全て901として生産されたものの、販売時には911の名称が用いられました。ポルシェのファクトリーコレクションには、このレアなモデルが50年間にわたって欠如していたのです。

TV番組の制作チームが歴史的価値のある秘宝に遭遇

2014年、アンティークやコレクターズアイテムなどに関する番組を制作していたドイツのTVクルーが長年車庫に眠っていた物品を評価していた際、1960年代に生産された2台の911に出会いました。そこでポルシェ ミュージアムに何度か問い合わせると、その2台のスポーツカーのうち車台番号が300.057の1台は、モデル名が変更になる前の貴重な車両であることが判明しました。ポルシェ ミュージアムは、社外の専門家が査定した価格でこの2台の911を購入することにしました。ポルシェが生産した重要なクラシックカーコレクションにはいくつか足りない部分がありましたが、ポルシェ ミュージアムはこの2台を購入することによって重要なピースが埋まったのです。

交換よりも修理を優先：信頼のおけるパーツを使った複雑なレストアを広範に実施

この車両を購入した決定的要因のひとつは、この車両がそれまでに一度もレストアを受けた履歴がなかったため、ミュージアムの専門家がオリジナルコンディションに復元する良い素材であると考えたからです。このひどく錆びついたスポーツカーを元の状態に戻すまでには、異なる車両から取った純正のボディパーツを使用するなどしたため、合計で3年もの年月を費やしました。エンジンおよびトランスミッションのほか、電装品やインテリアは、どれも同じ原則に基づいて修理が施されています。パーツ交換を最小限にとどめ、できるだけ元のものを利用するというのがその原則です。ポルシェ ミュージアムが歴史的に重要なスポーツカーを蘇らせるためにこれほど長い時間を要したのは、あえて復元作業に手間のかかる方法を採用したためです。

<本件に関する読者からのお問い合わせ先>

ポルシェ カスタマーケアセンター 0120-846-911

ポルシェ ホームページ <http://www.porsche.com/japan/>